

令和3年第3回江差町議会臨時会資料

資料1：江差町手数料条例の一部を改正する条例新旧対照表【議案第1号関係】	…P	1
資料2：江差町ふるさと特産品PR事業の概要【議案第2号関係】	…P	3
資料3：姥神祭り消費拡大キャンペーンの事業概要【議案第2号関係】	…P	5
資料4：（仮称）かもめ島の秋まつりの事業概要【議案第2号関係】	…P	7
資料5：江差追分「キズナ」プロジェクトの事業概要【議案第2号関係】	…P	9
資料6：AIカメラ体温測定システム整備の事業概要【議案第2号関係】	…P	11

江差町手数料条例新旧対照表

改正後		改正前	
別表第2 住民票・印鑑登録等に関するもの	別表第2 住民票・印鑑登録等に関するもの	手数料を徴収するもの	手数料を徴収するもの
住民基本台帳法（昭和42年法律第81号）第11条第1項の規定に基づく住民基本台帳の一部の写しの閲覧	住民基本台帳法（昭和42年法律第81号）第11条第1項の規定に基づく住民基本台帳の一部の写しの閲覧	1人につき	1人につき
200円	200円		
住民基本台帳法第12条第1項もしくは第2項または第12条の2第1項に基づく住民票の写しの交付	住民基本台帳法第12条第1項もしくは第2項または第12条の2第1項に基づく住民票の写しの交付	1通につき	1通につき
300円	300円		
住民基本台帳法第12条第1項または第2項の規定に基づく住民票に記載をした事項に関する証明書の交付	住民基本台帳法第12条第1項または第2項の規定に基づく住民票に記載をした事項に関する証明書の交付	1通につき	1通につき
350円	350円		
住民基本台帳法第20条第1項の規定に基づく戸籍の附票の写しの交付	住民基本台帳法第20条第1項の規定に基づく戸籍の附票の写しの交付	1通につき	1通につき
300円	300円		
削る	削る	削る	削る
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の規定による通知カード及び個人番号カード並びに情報提供ネットワークシステムによる特定個人情報の提供等に関する省令第28条第1項の規定に基づく個人番号カードの再交付又は行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律施行令（平成26年政令第155号）第15条第2項から第4項までの規定に基づく個人番号カードの返納後の個人番号カードの再交付（町長が特に必要と認める場合のものを除く。）	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の規定による通知カード及び個人番号カード並びに情報提供ネットワークシステムによる特定個人情報の提供等に関する省令第28条第1項の規定に基づく個人番号カードの再交付又は行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律施行令（平成26年政令第155号）第15条第2項から第4項までの規定に基づく個人番号カードの返納後の個人番号カードの再交付（町長が特に必要と認める場合のものを除く。）	1通につき	1通につき
350円	350円		
戸籍の附票に記載をした事項に関する証明書の交付	戸籍の附票に記載をした事項に関する証明書の交付	1通につき	1通につき
350円	350円		
不在住及び不在籍に関する証明書の交付	不在住及び不在籍に関する証明書の交付	1通につき	1通につき
350円	350円		
江差町印鑑登録及び証明に関する条例（平成5年江差町条例第16号）第7条の規定に基づく印鑑登録証の交付	江差町印鑑登録及び証明に関する条例（平成5年江差町条例第16号）第7条の規定に基づく印鑑登録証の交付	1枚につき	1枚につき
350円	350円		
江差町印鑑登録及び証明に関する条例第11条の規定に基づく印鑑登録証明書の交付	江差町印鑑登録及び証明に関する条例第11条の規定に基づく印鑑登録証明書の交付	1通につき	1通につき
350円	350円		
亡失及び改印による印鑑登録証の再交付	亡失及び改印による印鑑登録証の再交付	1枚につき	1枚につき
350円	350円		
身分に関する証明書の交付	身分に関する証明書の交付	1通につき	1通につき
300円	300円		

江差町ふるさと特産品PR事業の概要

—新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業—

1. 事業目的

新型コロナウイルスの影響により、不要不急の外出、往来の自粛などで江差町内事業者（製造業・卸売業・農漁業者等）の販売機会が少なくなり、売り上げが落ち込んでいる。

コロナ禍の影響で、外出自粛やリモートワークにより在宅している機会が増え、巣ごもり消費が伸びていることから、インターネット媒体を通じて江差町の魅力、特産品等をPRし、ふるさと納税寄付金の取り組みから地域経済の回復、地域の活性化につなげる。

2. 事業費 2,300千円

①ふるさと納税ポータルサイト広告掲載 一式 2,035千円

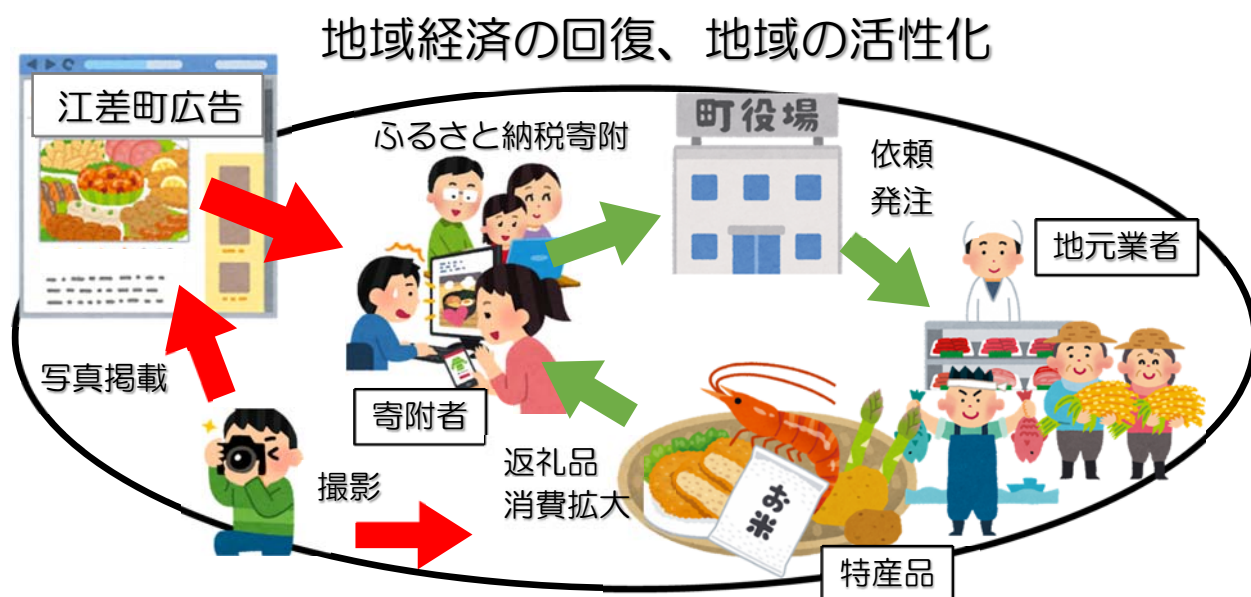
- ・掲載期間 1月26日～2月24日
2月24日～3月31日

②広告掲載用写真撮影に伴う経費 一式 265千円

- ・掲載用写真撮影委託（委託料）
- ・写真撮影に伴う経費（消耗品、食糧費、送料）

3. 事業対象 江差町内事業者（製造業・卸売業・農漁業者等）

4. 実施期間 令和3年7月～令和4年3月



姥神祭り消費拡大キャンペーン事業

国の経済対策との関係:Ⅲ 経済活動の回復

【目的】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、町の最大の祭りである「姥神大神宮渡御祭」が中止となったことに伴う消費の落ち込みが懸念されることから、消費拡大に向けて、祭りにちなんだオリジナルグッズがあたるキャンペーン事業を展開し、消費拡大及び経済回復の一助とする。

【事業概要】

①事業内容
応募用紙に設定金額分以上の領収証を貼付の上応募すると抽選で祭りにちなんだオリジナルグッズが当たるキャンペーンの実施

②応募期間

令和3年7月26日～8月22日(予定)

③応募内容等

[A賞]

- ・設定金額:3,000円1口(複数応募可)
- ・賞品:全部の山車の紋が入った冷感タオル及び巾着袋
- ・当選者数:300名

[B賞]

- ・設定金額:5,000円1口(複数応募可)
- ・賞品:指定の山車の紋が入ったタンブラー・冷感タオルのセット
- ・当選者数:各山車 30名(全390名)

[参加賞]

- ・対象者:応募者全員(1人1枚⇒複数応募でも1枚)
- ・賞品:指定の山車の紋のシール
- ・総定数:各山車 100名(全1300名)

④その他

- ・応募用紙、応募箱はエリア分けを意識して8か所の店舗等に設置
- ・応募用紙は各箇所500枚配布
- ・8月中に賞品発送

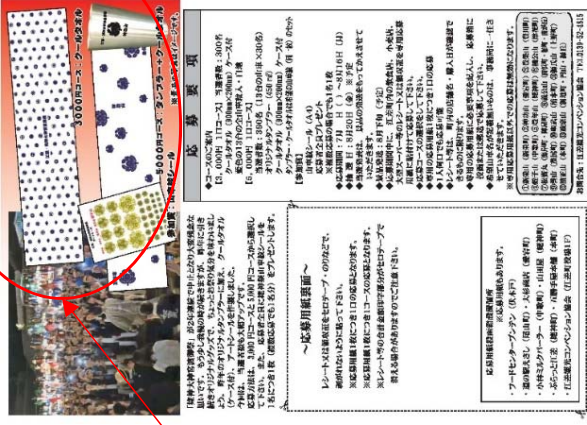
【事業費】

- 3,102千円(全額臨時交付金)
- 事業委託費1式(冷感タオル・タンブラー・シール作成購入費、広告宣伝費、郵便料ほか)

チラシ(イメージ)



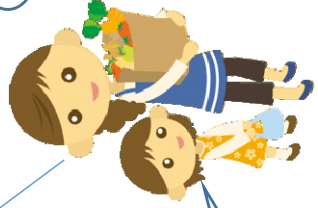
抽選で姥神祭り
グッズが当たる！



応募



町内で買い物



消費の拡大！
経済回復へ！

姥神祭りグッズ
あたるかな！

(仮称)かもめ島の秋まつり

国の経済対策との関係:Ⅲ 経済活動の回復

【目的】

コロナ禍における江差かもめ島まつりの中止に伴い、代替イベントを開催することによって町民がかもめ島周辺で楽しめる機会の創出と北の江の島構想の推進を図るとともに、イベントを介した町内消費の拡大につなげる。

【実施日時・場所】

令和3年9月4日(土)13:00～21:00 開陽丸・かもめ島周辺

【事業概要】

- ①開陽丸駐車場でのテイクアウト事業
 - ・開陽丸駐車場に10店舗以内で出店いただく(テイクアウトのみ)
 - ・駐車場の周りを使い、中央部は並ぶスペースに活用
 - ・駐車場スペースではテイクアウトのみ
 - ②イートスペースを開陽丸広場に設定(家族利用、黙食等の推進)
 - ③艇庫・開陽丸を活用した子どもの遊びの広場
 - ・会場は開陽丸2階、艇庫利用を想定
 - ・体験でかもめ島で遊べるものを創作(島上への誘導)
 - ・北電のコーナー(綿あめづくり、エネルギー体験) など
- ③江差追分大合唱(島上)
 - ④光の散歩道
 - ・島上に誘うための光の演出(灯籠、LED照明等)を施す

【事業費】

1. 067千円(全額臨時交付金)
- ・事業委託費 1式(光の散歩道材料費、音響リース料、遊びの広場消耗品、広告宣伝費、感染防止資材ほか)

【コロナ対策】

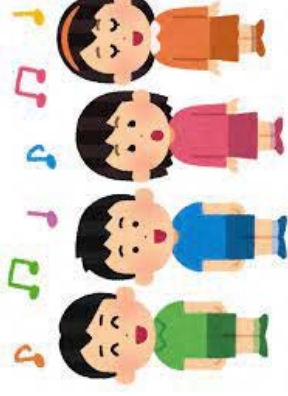
- ・イベントガイドライン作成により対策を図る



子どもの遊び



テイクアウト



江差追分合唱



ミニシアター

かもめ島周辺で

消費の拡大!

町民が楽しむ機会の創出!

江差追分「キズナ」プロジェクト事業概要

＜追分観光課＞

第2期総合戦略の基本目標1「経済基盤を持続させる産業の振興」を推進するため、「新しい生活様式」に基づき「オンライン指導や動画配信」を行うとともに、感染拡大防止を図り三密を回避しながら江差追分の聖地「江差町」でできる「各種事業」を実施し、コロナ禍でも国内外で江差追分を愛好している追分分会員（関係人口）とのキズナを深め、江差追分の普及伝承や魅力の発信強化、さらには、地域経済活性化に繋げる取り組みを展開する。【実施主体：江差追分会】

(①～③事業費計 6,400千円 ※全額臨時交付金)

①江差追分オンライン ～人・唄魅力発信事業～ (事業費 2,420千円)

「新しい生活様式」を取り入れ、今後の江差追分の普及宣伝、伝承に繋げるツールのひとつとして、オンライン指導を実施する。また、江差追分に関わる人、歴史など江差追分の魅力を情報発信することで、コロナ禍で江差町に訪れることができず追分会員とのキズナを深め、収束後江差にまた来たいと思ってもらえるよう誘客に繋げ、江差追分の普及（裾野の拡大）と先人の記録を残し将来への保存伝承を図るため、動画配信事業を展開する。

＜主な内容＞ 委託事業

○江差追分オンライン道場（8月～2月・毎週日曜日）

- ・ZOOMによる参加（3人/回）1人20分程度
- ・専用ホームページから事前予約制
- ・指導講師報酬支給

○江差追分アーカイブ配信事業 (YouTube)

- ・江差追分の歴史や思い出、昔話などをYouTubeで配信（1本5分程度）
 - ・作成ホームページ内にて、ジャンルごとに上記動画を閲覧できるような構成
- ※令和2年度作成した動画コーナーに追加
- ・記録映像を撮影することで、江差追分の保存伝承を図る

○江差追分大合唱配信事業 (YouTube)

- ・コロナ禍で、集まって唄う事ができない中でも、江差追分分会員から投稿していただいた江差追分動画をまとめ、YouTubeで配信することで会員間の一体感を創出し、江差追分の普及宣伝に繋げる。



江差追分「キズナ」プロジェクト事業概要

< 追分観光課 >

(①～③事業費計 6,400千円 ※全額臨時交付金)

②聖地で完全燃焼！中3最後の秋 ～魂の唄・江差追分思い出発表会～（事業費 1,850千円）

江差追分全国大会（少年大会）が中止となったことで、少年大会に来年出場できない中学3年生を対象とした江差追分発表会を開催。追分の聖地江差町で同じ境遇の仲間と思いい出をつくりキズナを深め、将来の伝承者として新たな一歩を踏み出すことで、江差追分の未来につなげる事業にする。また、開催することで地域経済の活性化に繋げる。

<主な内容>

○中学3年生のみを対象とした発表会を開催。（対象予定 16人・開催日：9月19日（日）・場所：文化会館大ホール）

- ・参加者の旅費等負担（宿泊（2泊）・交通費）
- ・参加者への記念品等配布（江差追分マスク・時計・記録映像DVD・アルバム写真など）
- ・発表会を動画ライブ配信
- ・発表会当日、街頭放送を活用し発表会の中継音声の他、歴代優勝者等の江差追分を放送
- ・随行者として、父母、各支部長などを想定

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため参加人数を制限し、消毒等対策を実施



③本場で学ぼう！Go To Study ～江差追分セミナー事業～（事業費 2,130千円）

江差追分の本場「江差町」で開催する「江差追分セミナー」。地元師匠からの徹底指導や参加者同士の交流により江差追分で繋がるキズナを深めるとともに、感染拡大防止を図りながら、江差割や国、道の観光支援策などとの連動により閑散期の江差へ誘客を図ることで地域経済の活性化に繋げる。

<主な内容>

○江差追分セミナー（秋季2週、冬季3週・各3日間）

- ・セミナー参加費用免除
- ・講師、伴奏者にかかる費用（謝礼・交通費・宿泊費）
- ・1教室5人×3室（3密を回避するため広い会場借上含む）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため参加人数を制限し、消毒等対策を実施



A I カメラ体温測定システム整備事業

(国の経済対策との関係：I 感染拡大防止対策)

■目的

新型コロナウイルス感染症の拡大により、様々なイベント等が中止や多くの制限のなかで開催されている状況にある。不特定多数の方が参加・利用するイベントや、日常的な施設の利用においては、入室・入場時に検温などの対応が必要となっているが、個別対応では人流の滞留などによる二次感染リスクが懸念され、加えて労力的・人力的な負担が大きい。こうしたことから複数人を同時に検温できるA Iサーマルカメラを導入し、施設の安全性の確保や利便性を向上させるとともに様々なイベント等で活用を図る。

また、災害時における対策本部や大規模収容避難施設における受入体制にも備えるものとする。

■事業内容

◎体温測定システムの整備一式【A Iカメラによる複数人同時検温】

- ・ A I 体温測定カメラ
- ・ 測定結果表示モニター（スタンド・パソコン附属）
- ・ ブラックボディ（温度校正装置）
- ・ L A N 配線工事

■事業対象

◎主設置箇所：江差町文化会館

◎利用方法：日常的な施設利用者（図書館含む）及びイベント・会議時の入場者の管理

◎主なイベント等：江差追分発表会、江差町文化祭、成人式、保育園発表会、吹奏楽発表会
運転免許証更新時講習、社会教育団体定例活動、ロビー作品展示、図書館利用

◎その他活用が想定されるイベント等：

かもめ島まつり、産業まつり、軽トラ市等の屋外イベント

■事業費

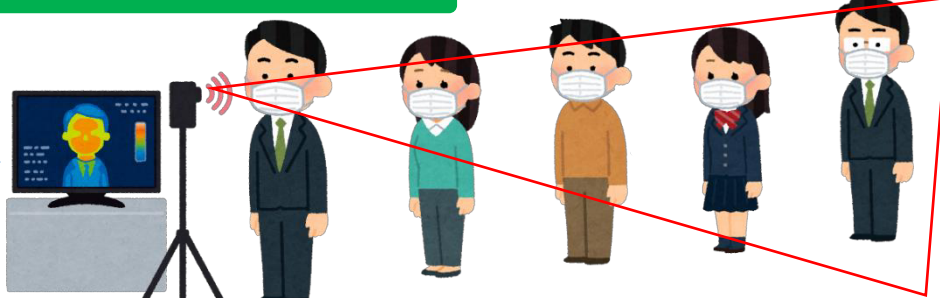
1, 9 0 0 千円（全額臨時交付金）

■導入時期

8月下旬

■システムイメージ

立ち止まらずに複数人を同時に測定



測定結果をモニター表示
高熱検知をブザーでお知らせ

検知該当者は、職員が誘導し
検温等個別に対応

測定結果はパソコンで自動記録
入館者の人数や状況も把握可能